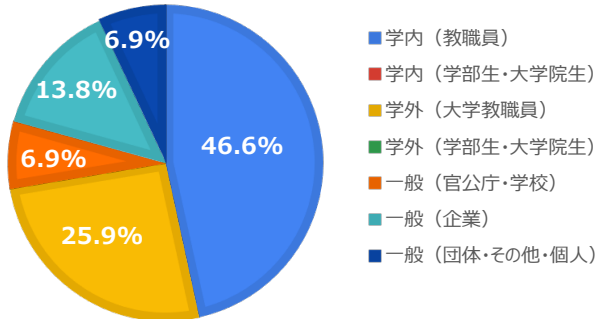


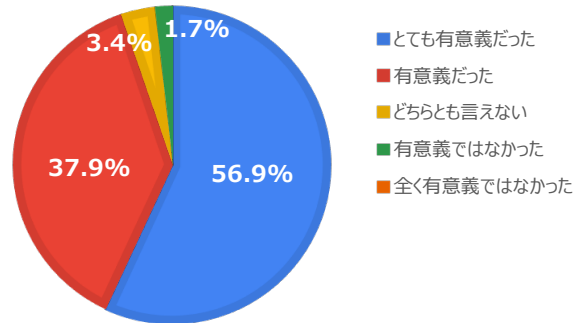
# 2025/3/10 神戸大学キックオフ・シンポジウム 【アンケート結果】

対面参加者53名、Zoom参加者52名

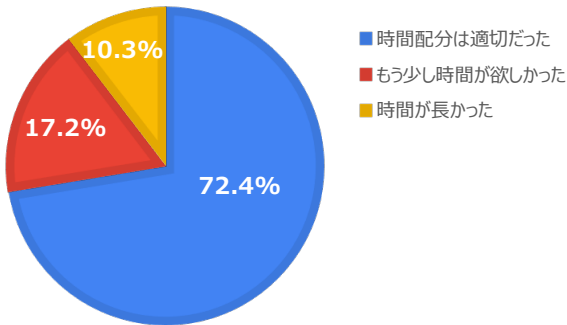
## 1. ご所属



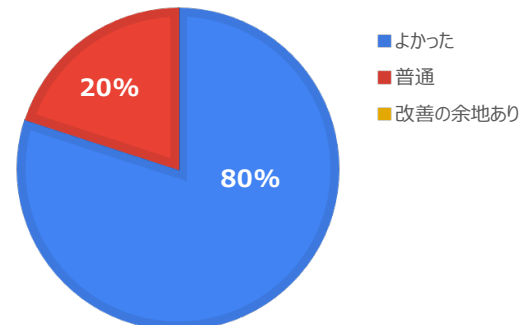
## 2. 本日のキックオフシンポジウムの感想 58件の回答



## 3. プログラムの時間について 58件の回答



## 4. オンライン環境について (Zoom参加者) 30件の回答



## 5. 興味深かった講演・セッションがありましたら、そのタイトルと理由についてお聞かせください。 (38件の回答)

- ・全体的に良い内容でした。
- ・パネルディスカッションでは皆様のご苦勞をお伺いし、大学ならではの大変さを知ることができた。
- ・パネルディスカッションで様々なお話を聞くことができ参考になった。若手の方からの質問や意見などをもう少し聞いてみたかった。
- ・基調講演、パネルディスカッションとも、大変勉強になる内容でした。パネラーの方々も仰っておられましたが、貴学の姿勢を今回のように示すことが、当事者の安心や意識醸成に大きく繋がると感じました。
- ・シンポジウム：シンポジストの経験や提言は示唆に富んでいて、またこれから神戸大学がこの事業を進めていくにあたっての熱意を知ることができた。
- ・ADRESサイクルによる輝く女性リーダー活躍促進プログラム、非常に多くの内容が紹介されていたので。
- ・どれも興味深く拝聴いたしました。
- ・基調講演での「belonging(帰属)」についての内容が興味深かった。また朴木先生の「先達があつての今の時代」というご意見は、その通りで、ごもっともである。現在の現役者も次代へ、より良い環境を受け渡す役目を担っていることを自覚する必要があると感じた。
- ・今回基調講演を目当てに参加したため、基調講演があつという間に終わってしまった瞬間物足りなさを感じましたが、結果的に後半のパネルディスカッションがとても印象的でした。実際に過酷な状況を耐えて乗り越えてこられた先生方の深いお話を聞くことができ、胸を打たれるような思いで聞き入っておりました。現在、所属大学におけるジェンダー協働推進センターの事務を担当しているのですが、現場のリアルな状況を感じることができ、本当に改善しないといけないうんだなという使命意識にも繋がりました。ありがとうございました。
- ・山村POの「DEIB」のお話が大変興味深かったです。また、パネルディスカッションでも、パネリストがご自身の経験を赤裸々に共有してくださり、質疑応答も活発で様々な事例やご意見が聞けたことが大変ありがたかったです。

- ・シンポジウムでもう少し話を聞きたかったです。別会議が17時より予定されており、ぎりぎりまで話を聞けるかと思っておりましたが、さらに延長されてのディスカッションもあったようで、最後まで聞けず残念でした。
- ・パネルディスカッション
- ・意見交換の場において、多様な経歴をお持ちの先生方から、ご自身の経験とともにご提言となるような内容をお聞きできてよかったと思っております。特に、朴木先生の「昔と比べよくなったが、今が良いというわけではない」とのご発言は、まさしくそのとおりだと感じました。
- ・パネルディスカッション：他大学における女性教員の現状等を知ることができたため。
- ・先生たちの生々しい話が面白かった(そういうのあるよねという感じ)。大学の風土の古さもしみじみ伝わりました。
- ・パネルディスカッションで具体的なご経験をお聞きすることができ、一般企業と同じ課題や特有の課題があることの気づきがありました。
- ・いずれも興味深かったです。
- ・山村先生のご講演：国の方針を理解することができた。
- ・山村先生の特別公演がとても分かりやすくまとめていただいて勉強になりました。他大学の取組が大変興味深かったです。
- ・パネルディスカッション：若手男性に属する年代なので、過去の状況が思っていたよりも劣悪だったことを知り、驚いた。現状の課題も多少勉強になった。それら課題の解決と本プログラムがどのように具体的につながるのかはもう少し議論が欲しかった。
- ・パネルディスカッションもよかったですし、最初のプログラムの説明もよかったです。わかりやすかったです。
- ・現状、課題がよく理解できた。
- ・パネルディスカッション：過去の事例を聞き励まされた。様々な年代の話を聞けて良かった。
- ・山村先生から他大学のご紹介をいただいたのは参考になりました。またシンポジストの先生方のリアルな実体験をお聞きできたのも参考になりました。
- ・女性研究者をめぐる環境が変わっていった状況がよくわかりました。良くなっているとはいえ、まだまだ課題はあるので、大学としてさらに取り組んでいくことが必要だと思いました。
- ・山村先生からの基調講演、大変勉強になりました。神戸大学へのメッセージも頂き、これから一層頑張らないといけないと感じました。パネルディスカッションについても、各先生方のこれまでの戦いのおかげでここまで来られたのだと実感し、非常に感銘を受けた。
- ・各公演ともとても内容が興味深く、非常に勉強になりました。特にパネルディスカッションでは、ワークライフバランスやジェンダーも含めて各先生のご経験を聞くことができてとてもよかったです。
- ・パネルディスカッション
- ・パネルディスカッション、パネリストの体験談
- ・女性リーダー(管理職)になればこういういい未来があるよ、と具体的に想像できるような内容があれば目指す人も増えるのかなと思いました。
- ・パネルディスカッション(先輩方の色々なお話を聞くことができたため)。
- ・パネルセッションで、様々なエピソードを赤裸々に語ってくださったのが非常に励みになった。管理職となると年代が固定されるのかと思ったが、より上の世代の方からもお話を聞けたので良かった。
- ・基調講演にてこれまでの流れがよくわかりました。他大学のモデルも大変参考になりました。パネルディスカッションでも、今までの先生方の努力があつてこそなのだとよくわかりました。
- ・パネルディスカッションが大変盛り上がり、本学における課題とも共通点がありとても参考になりましたし、くびがちぎれるほどなずくこともありました。「教育機関である」と、「学生が見ている風景」がどのようなものであるとよいか…これから考えていこうと思いますし、神戸大学様とも情報交換させていただければと思いました。
- ・パネルディスカッション：先生方の色々なお話が聞けて良かった。理系なので、佐藤先生のお話には共感するところが多かったです。朴木先生も本当にすごいと思いました。
- ・小さい子供がいるとなかなか研究が進まないことも多いですが、現在指導的立場の先生方も危機的なレベルにキャリアが滞っていた経験がえられるのを聞きまして非常にencourageされました。
- ・基調講演：他大学のプログラムを知ることができた。
- ・パネルディスカッション：先生方のご経験を沢山うかがえた。
- ・山村様の講演が興味深かった。神戸大学の一番の特色は何なのか…？と思いました。

## 6.今後取り上げてほしいテーマや話題がありましたらお聞かせください。(16件の回答)

- ・LGBTQI
- ・(女性に関わらなくてもよいが)研究力向上に関するセミナーなどの取組
- ・定員削減がある国立大では教員が担う業務量が増し、研究に割ける時間が少なくなっています。皆ぎりぎりの中で若

手を育成していくことについて、ぜひ取り上げていただければ幸いです。

- ・海外における最新の取り組みの紹介など
- ・メンター制度構築経験、社外メンター制度をお持ちでしたら施策の一環で簡単に仕組みや運営維持についてお話を伺いたいです。
- ・大学の共創ネットワーク企業との連携
- ・3大差別のうち、性別への対応の様子は理解したが、年齢差別についても取り上げてほしい。
- ・自然科学系と人文社会系の意識の違いなど
- ・過去のものも含め、プログラムの成果や効果を具体的に(事例など)知りたい。
- ・工学・理学の若手女性研究者(特に子育て世代)がどう研究と教育、プライベートを成立させているか気になりました。私も分野的に工学が近く、学会員の女性比率も11%と神戸大と似たような状況です。ロールモデルも数少ないもののいらっしゃるのですが、圧倒的に少ないので同じ分野や他分野の女性研究者がどう過ごしてきたのかを知りたいです。
- ・今日の話にもあった通り、女性は上位(教授、准教授)が少なく、むしろポスドクや助手が多いので、その点についてさらにどのようにして改善していくかなど、ふみ込んだ話が聞いてみたいです。
- ・アンコンシャスバイアスについてのFDや話しよくするための方策、他大学の実例など。
- ・女性大学院生のキャリアパスの構築
- ・学生さん向きのテーマ(女性学生だけでなく男性学生も来れるような)。
- ・女性登用のポジティブアクションについて、本当に強いネガティブな応答があることについて。
- ・研究科毎もしくは理系・文系などで分けて、女性教員登用について検討する場を設けてほしいです。

## **7.シンポジウム全体へのご意見・ご感想、女性リーダー育成事業についてご要望がありましたらお聞かせください。 (18件の回答)**

- ・女性リーダー育成事業は、実務を行うコーディネイターはじめとして、関係する教職員にとって大変な事業だと思います。事業の意義が全学的に理解され、コーディネイターや関係する教職員の職務環境やキャリアも尊重される事業となることを願っております。
- ・本日の基調講演や神戸大学で行われている内容に大変興味があったが、オンラインでは資料が配信されていないため、画面録画等ができない状況で、文字数の多い内容を把握するのが困難であった。当日、もしくは事前にスライドデータ配布があるとありがたい(本日のスライドもいただけるのであればメール等で配信もしくはダウンロードサイトを紹介してもらいたい)。※入れ違いで情報配信の予定があればご容赦ください。
- ・たくさんのお話を拝聴して、今以上に男尊女卑がひどすぎて驚きました。復職した後の会議で「謝れ」という表現は適切でないですね。「お礼」言ってください、ならよかった。神戸大学の環境改善・取り組み、戦いは、素晴らしいと思いました。
- ・朴木先生が女性研究者支援でご活躍しているところから存じ上げていたため、当時ならではのことがいろいろあったことを思い出しました。パネリストの皆様のお話は大変有益でした。ありがとうございました。
- ・これだけ取り組んでいても、どの大学も我々と同様に「最終的には部局による」という現状は変わらないし、そこを打破するために苦労しているということが理解できた。この解決方法を組織を超えて考えたり、共有する機会を持ち、改善に向けて強い気持ちで進む必要があると感じた。
- ・今回、このようなテーマでの会を持っていただき、ありがとうございました。遠隔での参加でしたが、大変クリアに音が配信されており、また演者やスライドなどのスイッチングも的確で、拝聴していて聞こえづらさでやはり現場に伺えばよかった、という気持ちにさせられることはなかったです(内容自体が大変興味深かったのも、そういう意味では、現場に伺えたらよかったと思いました)。ほんの数年ずれるだけで、制度的なものが異なっていたということが分かったと同時に、それならばこれからどんなことを進めていけるだろうかと思えました。私の所属している部局は女性教員が多いとは思いますが、それでも専攻別にみると唯一の女性であり、それぞれの専攻で別の動きをしていることもあることから、ある意味自分のペースでこれまで進めさせていただいておりました。まずは、他の部局などの先生方のご経験自体をこのような場で把握すること自体が、ピアレビュー的に大変ありがたい機会なのではないかと思えました。また、このような会に参加すること自体に時間的にもつたいない、という気持ちが芽生えないような周知も必要かと思えました(これは男女問わずのことなのかもしれませんが、子どもの帰宅時間などを鑑みて、業務の兼ね合いの中では時間の使い方が非常に難しいところの1つだと思っております)。
- ・残念ながら業務の都合により後半のパネルディスカッションはほとんど見れなかったのですが、前半の山村様の基調講演、貴学の取組、どちらも大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・パネルディスカッションの内容がとても興味深く、特に、登壇者自身の経験談が印象的に残りました。理系の女性教員比率の向上については、どの大学でも大きな課題になっていますが、今回のようなシンポジウムの開催で情報提供をい

ただいたり、意見交換を拝聴できたりするだけでも有意義な時間でした。ありがとうございました。

- ・遠方であるためオンラインで参加させていただき、様々な取組や情報を得る機会をいただきました。本学の取組に際して、参考にさせていただき、今後取組んでいきたいと考えております。ありがとうございました。
- ・過去のされたつらかったことが忘れられないのはわかりますが、過去の苦労話はもうよいかなと感じました。それとやはり結婚して子どもがいる人はいいという考え方が強いんだなと思います。独身だと女性差別がないわけではないので、それは理解いただきたいと思います。性の多様性も含め、アプローチが古いなという印象です。ですがこれをきっかけに丸となって進められると状況改善が進むのだろうと期待します。
- ・キックオフシンポ後の事業予定を共有してくださるとありがたいです。
- ・日頃中堅男性研究者が女性平等に関連する問題すら知らないことに驚くことが多い。啓蒙が必要と思う(例えば子育て期の業績の減少、キャリアアップを考えて、ある程度の年齢になるまで出産を控える、介護についても男性も介護をしているというが、実際の介護をしているのは女性が圧倒的である等)。リーダー支援をしていただいてありがたいのですが、助成を受けて新規の人を雇わなくてはいけないというルールが使い勝手を困っています。何とか研究費で雇用している人件費を助成対象として支援していただけると大変ありがたいです。
- ・上位職を増やすのが主目的の取組というのがよく分かったキックオフシンポジウムでした。目的からそれるかもしれませんが、30代～40代前半の女性研究者のお話も気になりました。
- ・本プログラムの全学構成員(学生を含む)への周知
- ・「水漏れ」しない支援(ラボへの金銭的支援でしょうか…)が重要と思います。一番難しいことかもしれませんが、どうぞよろしくお願い致します。
- ・学生さん(マスター、ドクター)がもう少し来るのかと思っていた。
- ・より多くの事業を展開していただくことを希望します。
- ・私自身は子育てと仕事をしている間にあまりキャリアも積めず、こぼれ落ちる水にも入れてないかもしれませんが、これから研究者になろうと思う若い人たちが研究を楽しんで自然にキャリアを積めるようになってほしいと思います。大学の取組にも期待しています。